

開発途上国の観光行政官が釜石市の観光振興策を学ぶ

12か国13名がラグビーを通じた街おこしやDMCの活動を視察

JICA東京では、開発途上国から観光行政官を受け入れ、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しています。開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。当研修では、日本での観光を使った地域振興の事例、特に観光セクターのSDGsへの貢献事例（サステナブルツーリズムなど）を中心に視察し、帰国後に彼らの国での観光開発に活かすことを目指したプログラムとなっています。



2023年度の研修風景

岩手県釜石市へは7月5日に訪問し、ラグビーを通じた街おこしや交流人口の拡大への取組みを学びます。釜石鵜住居復興スタジアムではミニラグビーを体験します。また、いち早くサステナブル・ツーリズムの国際基準に準拠した取組みを始め、自走型DMOで運営している「(株)かまいしDMC」を訪問し、地域への貢献と事業収益性を両立させる事業活動を学びます。是非取材をご検討ください。

【取材可能な研修日程】 ※当日は研修監理員が同行し、通訳（日本語-英語）を行います。

7月5日（金）	内容	場所
09:00 - 10:00	【講義】ラグビーを通じた釜石市の観光・地域振興 講師：釜石市役所スポーツ振興課	釜石鵜住居復興スタジアム (岩手県釜石市鵜住居町第18地割5-1)
10:05 - 10:50	【視察と体験】 スタジアム見学・ミニラグビー体験	
12:30 - 14:00	【講義】釜石市における持続可能な観光振興 講師：(株)かまいしDMC	釜石情報交流センター (岩手県釜石市大町1丁目1-10)

<研修概要>

研修コース名：観光マーケティング・プロモーション(A)(B)

研修期間：2024年6月11日～2024年7月13日（33日間）

研修参加国：モンゴル、ネパール、ペルー、ソロモン諸島、東ティモール、アルメニア、エジプト、エチオピア、ヨルダン、コソボ、マラウイ、ザンビアの観光行政関係者 合計13名



2023年度研修時の研修の様子

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
東京センター (JICA 東京)

2024 年 6 月 25 日

取材のお申込みや本件に関するお問い合わせ先

JICA 東京 産業開発・公共政策課 香川、水野

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kagawa.Maki@jica.go.jp、Mizuno.Haruka@jica.go.jp